

日中対照言語学会各位

日中対照言語学会の月例会(4月)を下記の通り開催いたします。どなたでも自由にご参加いただけますので、お誘いあわせのうえ多数ご来場くださいますようお願い申し上げます。

(日中対照言語学会事務局)

日中対照言語学会 月例会 (2018年4月)

日時： 2018年4月21日(土) 17:00~19:00

場所： 東洋大学経済学部会議室(2号館9階)

発表者： 続三義(東洋大学)

テーマ： 「天声人語」(2014.2.26)の中国語訳について

要旨： 朝日新聞中文網に掲載されていた『『図書館の自由』を守れ』という「天声人語」(2014.2.26)の中国語訳に分析を加え、日中対照の角度から、検討するつもりである。主に以下の網掛けの部分について論じる。

<誰も入れない、地下の、方形の部屋の、四面は全部真っ白な本棚で、本棚に本は一冊もない>/“谁都进不去的方形地下房间/四面尽是空白的书架/一本书都没有”。

1933年5月10日、ナチスは2万冊以上という書物を燃やした。非ドイツ的、退廃的などとみなしたマルクス、フロイト、ハイネ、ブレヒトらの著作を灰にした。「焚書(ふんしょ)」である。/1933年5月10日、纳粹焚烧了2万多册书籍。被认定为非德意志的、颓废的马克思、弗洛伊德、海涅、布莱希特等人的著作全都付之一炬，此即为“柏林焚书”事件。あのナチスの暴挙を思い起こす、という反応が出るのも不思議ではない。『アンネの日記』やそれにかかわる書籍が、次々と破られている。都内のあちこちの図書館で被害にあったのは300冊以上という。底知れぬ悪意が感じられ、戦慄(せんりつ)する/最近东京发生的一件事也不难让人联想起当年纳粹的暴行。《安妮日记》及有关书籍相继遭到破坏。东京都内多家图书馆里共计300多册书籍被撕毁。这份深不可测的恶意令人战栗。

こうした事件の発生は、その背景がどうであれ、日本に向けられる世界の視線に深刻な影響を与えるのではないか。それが心配だ。/如此事件的发生，无论其背后到底有着何种原因，都将会给全球社会对日本的想法带来深刻的影响。如此后果令人担忧。

交通： 都営地下鉄三田線「白山」駅

•A3出口から「正門・南門」徒歩5分

- A1 出口から「西門」徒歩 5 分
都営地下鉄三田線「千石」駅
- A1 出口から「正門・西門」徒歩 7 分
東京メトロ南北線「本駒込」駅
- 1 番出口から「正門・南門」徒歩 5 分
東京メトロ千代田線「千駄木」駅
- 1 番出口から「正門・南門」徒歩 15 分
JR 山手線「巣鴨」駅
- 南口から「正門・西門」徒歩 20 分
- 都営バス 10 分（「浅草寿町」行「東洋大学前」下車）